

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター



第236号 2024年1月号

だより

開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



あけましておめでとございます

2024年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

今年(ねん)は辰年(たつどし)です。辰(たつ)は「振るう」という文字(もじ)に由来(ゆらい)しており、陽(よう)の気(き)が動(うご)いて自然(しぜん)万物(ばんぶつ)が振動(しんどう)し、活力(かつりよく)が旺盛(おうせい)になって草木(くさき)が大きく成長(せいちょう)し形(かたち)が整(ととの)う状態(じょうたい)を表(あらわ)します。また、たつ(竜、龍)は十二支(じゅうにし)の中で唯一(ゆい)空想(くうそう)上の生き物(いきもの)で、権力(けんりょく)や隆盛(りゅうせい)の象徴(しょうしやう)であること(こと)から、向上(こうじやう)や業績(ぎやうせき)に大(お)きく関(か)わる年(とし)といわ(いわ)れています。

辰年(と)のいわれの通り(とお)、この年(みな)が皆(みな)さんにと(と)って大(お)きく成長(せいちょう)する年(とし)となること(こと)をお祈(いの)りいた(いた)します。

桶ヶ谷沼(はつがたに)ビジターセンター(い)では初詣(はつもうで)で以下(い)の3点(てん)をお祈(ねが)いしました。

- ① ベッコウトンボ(べっこうとんぼ)の数(かず)が増(ふ)えますように
- ② 皆(みな)さんが桶ヶ谷沼(はつがたに)や桶ヶ谷沼(はつがたに)やビジターセンター(い)に「来(き)てよ(よ)かったな(な)あ〜」と思(おも)えるよう(よう)な環(かん)境(きやう)がさら(さら)に整(ととの)いますように
- ③ トンボ(とんぼ)をは(は)じめ、桶ヶ谷沼(はつがたに)の動物(どうぶつ)や植物(しょくぶつ)が安(あん)心(しん)して生(せい)息(そく)でき(でき)ますように

発見! 72番目のトンボ (オナガアカネ)

去(さ)る11月(き)22日(にち)、桶ヶ谷沼(はつがたに)で72種目(しゆめ)となるトンボ「オナガアカネ(おながあかね)」が確(かく)認(にん)され(され)ました。発(はつ)見(けん)者(しゃ)は磐(い)田(た)市(し)豊(とよ)島(しま)にお住(す)まいの掛(かけ)沢(ざ)孝(こう)彦(げん)さん(さん)です。この日(ひ)、掛(かけ)沢(ざ)さん(さん)は桶ヶ谷沼(はつがたに)の北(きた)の藤(ふじ)棚(たな)付(つ)近(きん)でアキアカネ(あきあかね)など(など)を撮(さつ)影(えい)して(して)いま(いま)した(した)が、その中(なか)の部(ぶ)分(ぶん)にこのトンボ(とんぼ)が映(うつ)って(って)いま(いま)した(した)。

オナガアカネ(おながあかね)はアカトンボ(あかとんぼ)(アカネ属(あかねぞく))の一種(いっしゆ)で、顔(かお)が白(しろ)くヒメアカネ(ひめあかね)やマイコアカネ(まいこあかね)に似(に)ていま(いま)す(す)が、オス(お)の腹(はら)部(ぶ)の10ある節(せつ)の内の7番目(ぶばん)の部(ぶ)分(ぶん)がすこ(すこ)し(し)下(した)に張(は)り出(だ)して(して)いま(いま)す(す)のが特(とく)徴(てう)です。本(ほん)来(らい)このトンボ(とんぼ)は朝(あ)鮮(せん)半(はん)島(とう)や極(ごく)東(とう)ロ(ロ)シ(シ)ア(ア)に生(せい)息(そく)して(して)いま(いま)す(す)が、秋(あき)に北(きた)西(せい)の季(き)節(せつ)風(ふう)に乘(の)って日(に)本(ほん)に飛(ひ)来(らい)し、山(さん)陰(いん)地(ち)方(ほう)や北(きた)陸(りく)地(ち)方(ほう)の日本(にっぽん)海(かい)側(がわ)では毎(まい)年(ねん)のよう(よう)に見(み)ら(ら)れて(れて)いま(いま)す(す)が、太(たい)平(へい)洋(やう)側(がわ)で見(み)ら(ら)れる(れる)のは珍(めづ)しいこと(こと)です。新(しん)種(しゆ)の発(はつ)見(けん)はう(う)れしいこと(こと)です(す)が、その原(げん)因(いん)を考(かんが)え(え)ると複(ふく)雑(ざつ)な気(き)持(も)ち(ち)にも(も)な(な)ります(ります)。



ベッコウトンボです
3月にお会いしましょう



オナガアカネ

しぜんじゅく じゅくせい 自然塾の塾生がアリの新種を発見！！

☆ナガスジハリアリ・・・静岡県内では初

☆イガウロコアリ・・・桶ヶ谷沼では初

おけがや自然塾では、桶ヶ谷沼に生息するアリの観察会を行っています。講師はアリの生態に詳しい沖田さんで、塾生が桶ヶ谷沼に出かけ、複数の場所の土を持ち帰り、その土をふるいにかけて、捕まえたアリの特徴や生態を観察する講座です。この観察会で捕獲したアリの中で種名が不確かなものは沖田さんが持ち帰り、乾燥標本にして「日本産アリ類図鑑」の著者の一人でもある寺山守博士に送り同定をしてもらっています。

そのアリの中に、なんと上記の2種のアリが入っていました。つまり、塾生が県内初、桶ヶ谷沼初のアリを発見したことになります。沖田さんは2023年9月発刊の「駿河の昆虫」でこのことを紹介してくださいました。

この発見に関わった沖田さんと4人の塾生（内3人は元塾生）が参加し、12月10日（日）に開催した自然塾でこの名誉な発見の報告会を実施しました。

なおビジターセンターではそのアリを含めた桶ヶ谷沼のアリの標本の展示をしています。



アリの説明をする沖田さんと発見した塾生4人



ナガスジハリアリ
(体長5mm前後)



イガウロコアリ
(体長1.5mm前後)

今年もハクチョウがやってきました

12月9日（土）、コハクチョウ3羽が鶴ヶ池にやってきました。昨年は親子で6羽（成鳥2羽、幼鳥4羽）でしたが、今年は成鳥が3羽でした。そのコハクチョウが昨年来たものかどうかはわかりませんが、鶴ヶ池が華やかになったように感じられます。

その後、14日（木）まではいることが確認されましたが、15日（金）からは見られなくなりました。しかし、これまでも、見られなくなっても戻ってきたことがありましたので、戻ってくることを期待します。また、昨年見られたオオハクチョウが来ることも期待したいですね。



12月9日にやってきた3羽の
コハクチョウ



コハクチョウはクチバシの
黄色の部分が少ないです。



羽を広げています。手前の
ハクチョウは寝ています。